

初等中等教職員国際交流事業

タイ政府日本教職員招へい(タイ派遣)プログラム

(2022年9月19日、20日、23日:オンライン)

募 集 要 項

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)は、アジア太平洋地域の国々の相互理解と友好を促進し、平和で持続可能な世界の実現に資するため、「タイ政府日本教職員招へいオンラインプログラム」を実施します。つきましては、公募で参加者 15 名を以下のとおり募集します。

1. 教職員国際交流事業について

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)は、ユネスコの基本理念に基づき、多様な文化が尊重される平和で持続可能な社会の実現に資するため、アジア太平洋の人々と協働し、教育と文化の分野において地域協力・交流活動を推進しています。ユネスコ憲章の「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」という言葉に沿い、ACCU はその活動の一つとして、アジア太平洋地域の国々の相互理解と友好の促進を目的に、未来を担う多くの子どもたちに影響力を持つ「教職員」を対象とした国際交流事業を 2001 年より開始しました。それにより、日本と韓国・中国・タイ・インドとの間で、これまでに 5 千人近くの教職員の国際交流が行われ、教職員の学びが数多くの児童生徒に還元されるほか、学校レベルでの国際交流が生まれ、各国間での相互理解と友好の促進に貢献してきました。

2015 年に「持続可能な開発目標(SDGs)」が世界全体で共に取り組むべき普遍的な目標として国連で採択され、近年は日本においても SDGs 達成に向けた取り組みが学校・地域・企業等で活発化しています。「平成 29・30 年改訂 学習指導要領」では前文および総則に、「国際社会の平和と発展へ寄与する態度を養うこと」が教育目標の一つとして挙げられると共に、これからの学校ではあらゆる他者を尊重し多様な人々と協働し「持続可能な社会の創り手」となる児童生徒の育成が求められると述べられており、各教科等においても関連する内容が盛り込まれました。この教職員国際交流事業は、平和で持続可能な社会の創り手を育成する教職員の方々に、顔の見える国際交流による国を超えた学び合いの機会を提供し、SDGs の達成に共に貢献します。

2. タイ政府日本教職員招へいプログラム(タイ派遣プログラム)について

日本とタイの教職員交流事業に関しては、2015 年よりタイの教職員を日本へ招へいするプログラムを、2018 年からは日本の教職員をタイへ派遣するプログラムを、文部科学省、国際連合大学、タイ教育省の協力のもとで実施してきました。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度に続いてオンライン形式で、文部科学省委託令和 4 年度「新時代の教育のための国際協働プログラム」の一環で実施されます。タイ教育省の主催、チュラロンコン大学の協力により、15 名の日本教職員がアートをテーマにしたワークショップを通してタイの教育事情を学びます。

3. 実施目的

本プログラムの目的は、プログラム中の活動を通じて、教職員が相手国に対する理解を深めると共にお互いに学び合い、相手国の教職員や生徒との相互理解と友好を促進し、教職員間のネットワークを構築・強化することです。本年度は「アート」をキーワードに、タイにおける文化・芸術教育の精神や導入事例を学ぶとともに、実際に手を動かしながら参加者自身の教育実践につながるアイデアを考えていきます。プログラム終了後には、教職員が自身の学びを教育現場において児童・生徒・教職員・地域住民等に伝え、国際理解教育・持続可能な開発のための教育(ESD)を推進する担い手となり、ひいては日タイ間の相互理解と友好の促進、そして平和で持続可能な世界の実現に繋がることを目指しています。

4. 活動内容

「アートは世界の共通言語ータイの文化・芸術教育から学ぼうー」をテーマとした講義およびワークショップ

5. 日程概要

プログラム実施期間：2022年9月19日（月・祝） - 9月23日（金・祝）のうち3日間

日時	日程	プログラム内容
9月19日（月・祝） 16:00-18:00 （オンライン）	1日目	<p>・プログラム開会式</p> <p><u>ワークショップ①</u> テーマ：バーチャルミュージアムツアー&日本とタイのアート・コラボレーション 講師：Dr. Sarita Juaseekoon and Dr. Sirikoy Chutataweesawas</p> <p>初日のワークショップでは、タイで最も古い博物館であるバンコク国立博物館をオンラインで訪れ、タイの文化が表現されたアートとともに鑑賞します。参加者は、タイと日本の文化や環境に共通する価値観を学び、自然や仏教など、アートのインスピレーションとなるものを学びます。後半では、ワークショップで学んだタイのアートの要素を使ったデザインに挑戦します。</p> <p>持ち物：鉛筆、色鉛筆、消しゴム</p>
9月20日（火） 16:00-18:00 （オンライン）	2日目	<p><u>ワークショップ②</u> テーマ：子どもの発達のためのアート 講師：Assistant Professor Apichart Pholprasert (Ph. D.)</p> <p>二日目のワークショップでは、アートとそれが持つ価値を理解するための基礎的な内容を理解し、子どもの様々な能力の発達を促すことについて学びます。</p> <p>創造性や想像力を高めるというアートの特性に重点を置きつつ、アートが生涯を通じていかに多様な次元で人間の幸福を促進するのかを考えていきます。また、リラックスした雰囲気の中で絵を描くアクティビティを通して、参加者が絵を描くことに自信を持ち、最終的には授業に絵を取り入れることができるようになることを目指します。</p> <p>持ち物：鉛筆、色鉛筆またはクレヨン、消しゴム、濃い色のマーカー（黒、紺、茶色など）、A4サイズの紙5枚</p>
9月23日（金・祝） 16:00-18:00 （オンライン）	3日目	<p><u>ワークショップ③</u> テーマ：タイの学校教育における伝統音楽および舞踊 講師：Ph. D Vitchatalum Laovanich and Ms. Jutimaporn Paojinda</p> <p>最終日は、タイの伝統音楽と舞踊を理解するための基礎と、子どもたちの様々なスキルの発達という側面から伝統音楽・舞踊を取</p>

文部科学省委託令和 4 年度「新時代の教育のための国際協働プログラム」

		り入れる価値について学びます。参加者は様々なアクティビティを通して、タイの音楽とダンスの要素を体験します。
		プログラム閉会式

注：プログラム内容については変更の可能性あり。詳細が決定次第、参加者に共有する。

6. 言語

プログラム期間中は、日本語ータイ語の通訳が手配されます。

7. 参加者

日本の初等中等教育に携わる教職員 15 名を参加者とする。

8. 応募資格

(1)国際交流・国際理解教育・ESD を実践している、または高い関心を持っており、タイの教職員と積極的に交流し、プログラム後にはそれらの活動推進に寄与できる者。

(2)初等中等教育の教職員であること。

(3)オンラインにより提供されるプログラムの全日程に参加が可能であること。

※ 過去にタイ政府日本教職員招へいプログラムによりタイを訪問した教職員の参加も歓迎します。

9. 応募方法

下記の情報を添えて、ユネスコ・アジア文化センター国際教育交流部 accu-exchange_ml@accu.or.jp にメールで送付して下さい。

- ①氏名
- ②所属機関名
- ③職名
- ④担当科目
- ⑤メールアドレス
- ⑥緊急連絡先(電話番号)
- ⑦過去に ACCU のプログラムに参加した経験の有無
- ⑧関心のあるトピック・キーワード(3つまで)

件名は「令和 4 年度 タイ政府日本教職員招へいオンラインプログラム応募」(氏名)としてください。応募は**先着順**で受け付けます。

10. 応募締切

応募フォームの提出締め切りは **9 月 14 日(水)12 時**とします。応募は原則として**先着順**で受け付け、15 名に達し次第、応募を締め切ります。

ACCU からの「応募受付」のメール返信をもって参加が確定します。

11. 評価と報告

参加者は次のとおりプログラムの評価を行う。

- ・プログラム終了後、ACCU の実施するオンラインアンケートに回答する。

12. 注意事項

プログラム中に撮影した写真等は、ACCU、文部科学省、タイ教育省、チュラロンコン大学の報告書・冊

子・ホームページ等の情報媒体に使用されることがあります。参加者はあらかじめ了承した上でご応募下さい。

13. お問い合わせ

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)
国際教育交流部 (担当: 高松・蓮見)
〒101-0051 東京都千代田区神保町 1-32-7F 出版クラブビル
TEL: 03-5577-2853 / FAX: 03-5577-2854
Email: accu-exchange_ml@accu.or.jp